

No. 2894

2018-2019年度

会 長 上野山 栄作

幹 事 嶋田 崇

R広報委員長 菅原 佳典

担当：児嶋君、菅原委員長



第2640地区
 例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 事務所 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020
 創 立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2018-2019年度クラブ方針

Take Action and Enjoy!
 行動を起こそう！そして楽しもう！



本日のプログラム

平成30年12月13日 第2895回

・年次総会

・ソング：「それでこそロータリー」

次回のお知らせ

平成30年12月20日 第2896回

・前期活動報告の発表

・ソング：「四つのテスト」

前回の報告（第2894回例会）

開催日 平成30年12月6日(木)

点 鐘 (上野山(栄)会長)

ゲストの紹介 (石垣(泰)親睦活動委員長)

ゲスト:江川美奈江様、辻合竜也様
 (認知症と共に生きるまちづくり実行委員会)

今月の誕生・結婚祝

(石垣(泰)親睦活動委員長)

会員誕生:中村君、岩橋君、宮井君、石垣(洋)君
 上野山(英)君、井上君

配偶者誕生:原なぎささん

結婚記念:なし



12月のお誕生日

(左から)

井上君、上野山(英)君、岩橋君、中村君
 宮井君、石垣(洋)君です。

お誕生日おめでとうございます！



会長の時間

(上野山(栄)会長)

「健康寿命」

早いもので12月です。本日は認知症と共に生きるまちづくり実行委員会の江川さん、辻合さんにお越しいただきました。後ほどの卓話よろしくお願ひします。

12月の月間はロータリーの重点分野の1つでもある疾病予防と治療月間です。ロータリーの代表的な活動はポリオ撲滅ですが、その話とは別で、本日は人生100年時代と言われる私たち日本の疾病予防をと考えてみました。癌への恐怖は忘れてはならない問題ですが、もう1つ大きな問題として「健康寿命」の問題があると思います。沢山のドクターを前に私がこの様な話をするのは恐縮ですが、人生の最期に携わる仕事をしています私の話としてお聞きいただければと思います。

ここ数年の多死社会をみていると特に思うのですが、晩年の介護期間が長く、元気な姿が見失われ、人としての尊厳が周りから忘れられてしまい、生きながらにして死を意識し、周りもお別れを済ませている状況があると感ずます。

葬儀とは、その方の人生を尊重し、追慕してお別れを告げ、涙し、魂を天に送る為の儀式であり、そのことにより「人の生きた証」となり、「永遠の感謝」となるはずなのです。しかしながら、傾向として介護時期が長いと送る側がその様な気持ちになりにくいというのが現状です。その方の一番良かった時代のことが忘れられているのです。

その様なことを考えると健康寿命をキープし、自分らしさを持ち続けることは、自分のためにも周りにもとても大切なことだと思います。終わり良ければ全て良しと、人の一生の締めくくりはとても大切です。ピンピンコロリという言葉がありますが、最後は少し寝込んで家族に看病させてあげることも残された方の為に重要なことです。家族は最後に何かをしてあげたと思えることが必要であるのです。ですので、ちょうど良い亡くなり方って結構難しいと思います。

公務員の定年制度も19年度から段階的に65歳まで引き上げられている現状です。私は定年がありませんが、同世代はあと数年でリタイアと考えると羨ましくも現実問題、その後の自分の人生の過ごし方を考えずにはいられないでしょう。定年してからの生き方が問われる時代です。歳を重ねるごとに自らの存在感を出していく。年齢を重ねた者だからできること、役割があると思うのです。そう考えると私たちロータリアンにはまだまだ仕事がありそうです。

現在の65歳以上の認知症患者は7人にひとりだそうですが2025年には認知症患者は約700万人になり5人にひとりになると言われています。認知症の方々の生きがいを地域ぐるみで行うことで地域のQOLの向上、健康寿命に繋がると考えます。本日の卓話で勉強しましょう。

幹事報告 (嶋田(崇)幹事)

①クラブ懇談会の開催(忘年会)

日時：本日12/6(木)
19時～21時

場所：「名匠 和(なごみ)」
(有田川町 電話0737-53-1753)
会費：お一人5,000円

※乗り合わせをお願いします。くれぐれも飲酒運転にはご配慮願います。

- ② 雑誌「the Rotarian」を回覧します。
- ③ 例会終了後、例会場にて第6回定例理事会を開催します。



ロータリー友誌 (児嶋R広報委員)

ロータリーの友誌12月号

- ☆ヨコ組
- ・P3 RI会長バリーラシンのメッセージが掲載
- ・P7 特集「知的好奇心に火を付けろ！」が掲載
- ・P22～P25 平成29年度・事業報告と決算報告が掲載
- ☆タテ組
- ・P18 カニカマ掲載
- ・P22 有田RC「僕らが有田を楽しいまちに作る！」が掲載
- ・P28 河内長野高野街道RC「西日本豪雨被害の義援金募金活動」が掲載



有田ロータリークラブ
「僕らが有田を楽しいまちに作る！」コンテスト

委員会報告

* 創立60周年特別委員会
(上野山(英)委員長)

12月13日(木)年次総会終了後、当例会場で特別委員会正副部会長会議を開催いたしますので、会長、幹事、委員会実行幹事、副委員長、正副部会長のご出席をよろしく願います。



出席報告 (脇村例会運営委員)

本日の会員数31名
(出席規定免除会員9名)
出席会員数27名
(出席規定免除会員9名)
87. 10%
11/15 93. 10%
MU:児嶋君、脇村君

ニコニコ箱の報告 (松村SAA)

上野山(栄)君: 認知症と共に生きるまちづくり実行委員会の江川さん、辻合さん、ようこそ有田RCへ。本日よりよろしくお願いいたします。本日、クラブ懇談会にご参加の皆様、楽しい会にいたしましょう。

嶋田(崇)君: 江川さん、辻合さん、本日卓話を宜しく願います。今晚のクラブ懇談会宜しく願います。

橋本君: 江川様、辻合様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしく願います。

児嶋君: 江川さん、辻合さん、有田RCへようこそ。お話し楽しみです。

井上君: 江川様、辻合様、ようこそ有田RCへ。仕事の都合で今年の例会出席はこれが最後です。みな様よいお年を！

児嶋君: 江川美奈江様、辻合竜也様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話よろしく願います。

中元君: 江川美奈江様、辻合竜也様、ようこそ有田RCへ。

上野山(捷)君: 江川美奈江様、辻合竜也様、切実なこととして勉強させていただきます。

川口君: 江川様、辻合様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話宜しく願います。勉強させていただきます。

石垣(洋)君: 元気で81回の誕生日を迎える事が出来ました。感謝感謝です。これからもよろしく願います。

嶋田(ひ)君: 江川美奈江様、辻合竜也様、本日の卓話宜しく願います。

菅原君: 江川様、辻合様、ようこそ有田ロータリークラブへ。卓話宜しく願います。

橋爪(誠)君: 江川美奈江様、辻合竜也様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしく願います。アットワークで写真大きくのせて頂きました。ニコニコ献金増量いたします。

松村君: 江川さん、辻合さん、卓話楽しみにしています。

卓話

「認知症と共に明日を生きていく
～地域に繋ぐ認知症当事者の思い～」



認知症と共に生きるまちづくり実行委員会
辻合 竜也 様 江川 美奈江 様

・認知症を取り巻く背景

2013年の発表資料では全国で認知症高齢者が462万人、軽度認知障害(MCI)400万人と推計され、予想よりはるかに急速なペースで認知症高齢者が増加しています。とは言え、「認知症」とは加齢に伴い発症リスクが高くなり、特別な病気ではなく誰しがかかると可能性がある病気といえます。認知症を引き起こす病気の原因には、種類もたくさんありますが、一番多い病気としてアルツハイマー型認知症があります。しかし、高齢者だけではなく、働き盛りで発症する若年性認知症という問題もあり、自分たち自身の事として、認知症について考えていかなければならないと思います。日本は先進国の中でも高齢化が進んでおり、他の先進国は日本がどのように、「認知症対策」に取り組んで行くのか注目しています。

2015年に出された新オレンジプラン(認知症施策推進総合戦略)では、関係省庁と共同で策定し、各地域の実情に応じた、認知症の啓発活動が期待されています。

・認知症と共に生きるまちづくり実行委員会の成り立ち

2014年認知症の当事者、家族、支援者が全国を一本の轡で繋ぐという、認知症啓発イベント「RUN伴(らんとも)」に和歌山県の有田圏域として、初めて参加したことがきっかけとなりました。

2014年、2015年とこのイベントに参加した実行委員の中から、全国的なルールに則り啓発活動を行うのではなく、1市3町の官民の有志で繋がった力を活用できないのかとの意見が出、自分たちの地域は自分達(ジブンゴト)で考えていくきっかけとなりました。そこから、RUN伴に賛同してくれた実行委員を中心に会議を重ね、「認知症と共に生きるまちづくり実行委員会(認とも)」が結成されました。

・認知症と共に生きるまちづくりイベント2018(有田川町地域交流センターでALECにて9/22に開催)

昨年の2017年のイベントを振り返り、集客することに重きを置いたイベントになってしまい、あれ？誰のための？

何を伝えたかったのか？という反省から、今年は原点に立ち返りました。

認知症の事は認知症当事者に聞くことが一番の近道だと確信し、認知症のご本人やご家族の意見をもとにした、講演会やシンポジウム、小学生サポーターによる発表など、多くの方にご協力を頂き、400名を超える参加者にお集まり頂くことが出来ました。もちろんオレンジライフ上野山様にもALEC内にあるオレンジカフェにて、イベントの周知啓発に多大なご協力を頂いたことを本当に感謝しております。

最後に、認知症という言葉だけで判断しないで、その目の前の本人を見つめて理解して下さい。我々は認知症に特化した形ではなく、すべての住民にとって住みやすい、やさしいまちは、認知症の人にとっても暮らしやすい、やさしいまちになることを信じています。

これから生きる私たちにとって、認知症という病気を受け入れ、地域が一丸となって支え合っていくことが大切です。

今、取り組んでいることは、そうした社会に少しでも近づくことだと信じて活動しています。

これからも、1市3町の官民の有志で、認知症についての啓発活動「認とも」を続けて行きますので、皆さまのご理解やご協力の程、よろしく願いいたします。

閉会・点鐘 (上野山(栄)会長)

～クラブ懇談会(忘年会)～

日時：12月6日(木) 19時～21時
場所：「名匠 和(なごみ)」

